

関甲信支部発 第 22-6-2 号

令和 4 年 12 月 15 日

会員・賛助会員 各位

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
関甲信支部 支部長 林 和樹



第 31 回 日臨技関甲信支部・首都圏支部合同病理細胞検査研修会の開催について(通知)

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より当会の運営にあたりご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当会では、臨床検査技師を対象に生涯教育の一貫として、倫理の高揚・資質の向上を目指し、その生涯教育の一環として部門別研究班担当による研修会を開催しております。

つきましては、下記の研修会を案内いたしますのでご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

謹 白

記

1. 日 時：令和 5 年 2 月 26 日(日)～ 令和 5 年 3 月 5 日(日)

2. 研修会場：Web 開催(上記期間に配信し、期間内随時受講可能)

3. 研修テーマ：デジタルパソロジーの現状と展望

1. デジタルパソロジーの概要/基礎

「デジタルパソロジーの現状と今後の展望」

講師：国際医療福祉大学医学部病理・病理診断学 森 一郎 先生

2. デジタルパソロジーの活用(地域密着型)

(a) 遠隔病理診断ネットワークの構築と運用

「福島県遠隔病理診断ネットワーク 問題点とコロナ禍の影響」

講師：福島県立医科大学 医学部 病理病態診断学講座 橋本 優子 先生

(b) 遠隔病理診断ネットワークにおける臨床検査技師の関わり

「福島県遠隔病理診断ネットワークにおける臨床検査技師の役割」

講師：福島県立医科大学会津医療センター 病理診断科 佐藤 崇 技師

3. デジタルパソロジーの活用(先進型)

「がん研におけるデジタルパソロジー導入と運用の実際」

講師：公益財団法人がん研究会がん研究所病理部 高松 学 先生

4. AI を用いた最先端研究 / 病理診断の未来

「最先端研究から考えるデジタルパソロジー時代の病理診断」

講師：東京大学大学院 医学系研究科 衛生学分野 石川 俊平 先生

5. デジタルパソロジー時代における臨床検査技師のあり方・向かうべき方向性

「病理診断の燈火(ともしび)」

座長：筑波大学附属病院 病理部 古屋 周一郎 技師

講師：北海道大学病院 病理部 松野 吉宏 先生

4. 参加費：1,000 円
5. 生涯教育：専門 20 点
6. 認定病理点数：申請中
7. 責任者：
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会関甲信支部
病理細胞検査研究班 代表 岡村 卓哉（獨協医科大学埼玉医療センター 病理診断科）
8. 担当者：
公益社団法人茨城県臨床検査技師会
病理検査研究班 班長 西村 信也（日立総合病院 検査技術科）
9. 連絡先：
第 31 回日臨技首都圏支部・関甲信支部病理細胞研修会 事務局
公益社団法人茨城県臨床検査技師会 病理検査研究班 中川 智貴
〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1 筑波大学附属病院 病理部
TEL 029-853-3865(直通) E-mail:nakagawa.tomoki.xj@alumni.tsukuba.ac.jp
9. 緊急連絡先(システム障害)：参加者に別途ご連絡いたします。
10. 申込期間：令和 4 年 12 月 23 日(金) ～ 令和 5 年 1 月 22 日(日)
11. 申込方法：日臨技ホームページの会員専用ページからログインして事前参加登録を行ってください(URL:www.jamt.or.jp/)。ホームページからの登録が困難な方は、1)所属県(地臨技会員)、2)日臨技会員番号、3)漢字氏名(ふりがな)、4)勤務先、5)勤務先住所、6)連絡先メールアドレス、7)連絡先電話番号、1)から7)を記入し研修会事務局(nakagawa.tomoki.xj@alumni.tsukuba.ac.jp)までご連絡ください。

※連絡メールが受信できる環境に設定をお願いいたします。

以上

第 31 回 日臨技関甲信支部・首都圏支部合同 病理細胞検査研修会 開催案内

主催：（一社）日本臨床衛生検査技師会 関甲信支部

実務担当技師会：（公社）茨城県臨床検査技師会

【テーマ】 「デジタルパソロジーの現状と展望」

【日時】 令和 5 年 2 月 26 日（日） ～ 3 月 5 日（日）

【場所】 （日臨技オンデマンドシステムによる web 開催）

【定員】 250 名 ※先着順

【受付】 令和 4 年 12 月 23 日（金） ～ 令和 5 年 1 月 22 日（日）

※日臨技ホームページの会員専用サイト『事前参加申請へ』



【受講料】 1,000 円（登録されたメールアドレスに振込口座と期日をお知らせ）

【生涯教育点数】 専門 20 点

【認定病理点数】 申請中

※認定病理点数およびクレジット取得にはすべてのプログラム受講とアンケート回答
が必須

【研修会事務局】

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1 筑波大学附属病院 病理部 中川 智貴

TEL : 029-853-3865 (直通) / E-mail : nakagawa.tomoki.xj@alumni.tsukuba.ac.jp

【プログラム】

1. デジタルパソロジーの概要 / 基礎編

「デジタルパソロジーの現状と今後の展望」

講師： 森 一郎 先生 （国際医療福祉大学医学部病理・病理診断学 教授）

2. デジタルパソロジーの活用（地域密着型）

(a) 遠隔病理診断ネットワークの構築と運用

「福島県遠隔病理診断ネットワーク 問題点とコロナ禍の影響」

講師：橋本 優子 先生 （福島県立医科大学 医学部 病理病態診断学講座 教授）

(b) 遠隔病理診断ネットワークにおける臨床検査技師の関わり

「福島県遠隔病理診断ネットワークの現状と臨床検査技師の役割」

講師：佐藤 崇 技師 （福島県立医科大学会津医療センター 病理診断科）

3. デジタルパソロジーの活用（先進型）

「がん研におけるデジタルパソロジー導入と運用の実際」

講師：高松 学 先生 （公益財団法人がん研究会がん研究所病理部 研究員）

4. AI を用いた最新技術と病理診断の未来像

「最先端研究から考えるデジタルパソロジー時代の病理診断」

講師：石川 俊平 先生 （東京大学大学院 医学系研究科 衛生学分野 教授）

5. デジタルパソロジー時代における臨床検査技師のあり方・向かうべき方向性

「病理診断の燈火（ともしび）」

座長：古屋 周一郎 技師 （筑波大学附属病院 病理部）

講師：松野 吉宏 先生 （北海道大学病院病理部 部長・教授）